

報道関係各位

～ 慢性疼痛に悩む患者とそのケアに携わる方々へ 慢性疼痛治療の正しい情報を提供 ～
主要な疼痛治療専門医らが、
“ペイン情報センター®(Pain Information Centre:略称 PIC)”を設立
…「痛み」の抑制・軽減による、患者の QOL(社会生活の質)向上を目指します…

■ ペイン情報センター®(Pain Information Centre:略称 PIC)設立

JR 東京総合病院院長 花岡一雄、駿河台日本大学病院院長 小川節郎など、日本の慢性疼痛治療における主要な医療従事者達は、2010年12月15日(水)、適切な治療が受けられていない慢性疼痛患者やその家族を対象に、積極的に慢性疼痛治療に関する情報を発信していく「ペイン情報センター®(Pain Information Centre:略称 PIC)を設立しました。構成メンバーである専門医・医療従事者が客観的な立場から、慢性疼痛に関する正しい情報の受発信が出来る体制を確立し、慢性疼痛患者が「痛み」を抑制・軽減でき、その結果、現状より少しでも快適な日常生活を送ることができる社会の実現を目指します。

■ 決して十分ではない、慢性疼痛患者への治療や病状に関する情報提供

わが国の慢性疼痛患者数は、約 1,700 万人とも推計されていますが、その中で疼痛専門医やペインクリニック医による適切な疼痛治療を受けている患者は、残念ながら極めて少ないのが現状です。

この現状の一因として、治療に携わる医療従事者を中心とする関係各所からの、慢性疼痛患者とそのケアに携わる家族等への疼痛治療に関する情報の周知活動が絶対的に不足していることが挙げられます。

また、医療従事者においても適切な慢性疼痛治療の知識が十分でなく、慢性疼痛治療の全国的な均質化が必要であることは明らかであると考えます。さらに、慢性疼痛患者の多くは何らかの日常生活への支障を抱えており、就学、就労への影響も少なくありません。こうした状況の下、なかなか現在受診している疼痛治療では、痛みが軽減しないと悩む患者は多く、「痛み」は一緒に付き合っていくもの」と諦めてしまっている患者も数多く存在しています。

■ 少しずつでも、自分たちのできる活動で患者・家族を取り囲む環境を変えて行きます

PIC はこうした課題に直面している慢性疼痛治療の専門医たちが、自分たちの力で少しずつでも、慢性疼痛に悩む患者や家族を取り囲む環境を改善して行こうと設立した組織です。「痛み」に悩む患者が、PIC が発信する情報により、正しい慢性疼痛治療を受けられるようになれば、痛みや痛みに伴う神経的苦痛から解放され、高い QOL(生活の質)の向上が実現します。また、同時に医療従事者にとっても効果的な治療やケアの提供が可能となります。

厚生労働省では、こうした現状を鑑み、これまであまり具体的な対策が講じられてこなかった慢性疼痛治療の問題について、2009年12月より有識者による「慢性の痛みに関する検討会」を発足。数回にわたり議論を重ねて、去る2010年9月、ガイドラインの作成などによる診療レベルの向上や痛みに関する最新の正確な情報の発信等を骨子とする「今後の慢性の痛み対策について」と題した提言をまとめ、公表しました。

PICの活動は、こうした行政の動きを間接的にサポートしていくものです。

■PIC ホームページ(<http://www.picnet.jp>)開設

活動の第一弾として、PICのホームページ(<http://www.picnet.jp>)を開設しました。

慢性疼痛に関する基本的な知識や情報をより分かり易く説明する他、今後はホームページを通じた各種問合せ対応など、活用性の高いWEBサイトとして様々な情報を提供していく予定です。

≪ ペイン情報センター® 構成メンバー ≫

花岡 一雄	JR 東京総合病院院長
小川節郎	駿河台日本大学病院院長
増田 豊	昭和大学薬学部治療ニーズ探索学教室教授
有田英子	日本大学医学部 麻酔科学教室臨床教授 JR 東京総合病院麻酔科・痛みセンター囑託部長
佐伯 茂	日本大学医学部麻酔科学系麻酔科学分野診療教授
関山裕詩	東京大学医学部附属病院麻酔科・痛みセンター外来医長

≪ 本件に関するお問い合わせ先 ≫

ペイン情報センター®事務局

株式会社ジャパン・カウンセラーズ内 担当:佐藤・後藤・重久
TEL 03-5159-7750 FAX 03-5159-7760 Email info@picnet.jp
〒104-0031 東京都中央区京橋 2-18-2 明海京橋ビル 2階